

報道関係 各位

2020 年 9 月 23 日
株式会社日本レースプロモーション

9 月 26 日(土)～27 日(日)
2020 年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第 2 戦 岡山国際サーキット
開催概要

株式会社日本レースプロモーション(代表取締役社長 倉下 明、所在地:東京都千代田区)は、9 月 26 日(土)～27 日(日)の 2 日間、岡山県美作市 岡山国際サーキット(1 周:3.703km)において、「2020 年 全日本スーパーフォーミュラ選手権第 2 戦 岡山国際サーキット」を開催いたします。今大会も、前大会に続き、政府のイベント開催に関する新型コロナウイルス対応ガイドラインに沿って観客を入れての開催となります。

今大会も、新型コロナウイルス感染防止の観点から、関係者を含む全来場者に対し、入場時検温、手指消毒、マスク着用、ソーシャルディスタンスの確保を第一に、観客と関係者との接触を極力回避する為、ピットウォークなどは実施いたしません。観客席も同様の観点に立った対策を講じての開催となります。またレースについても、26 日(土)にフリー走行、27 日(日)にノックアウト方式による公式予選と決勝レースの 1Day 実施、レース距離短縮など、新型コロナウイルス感染防止に対応したレースフォーマットとなります。なお、公式予選 Q1 は A 組 B 組の 2 組に分けて行います。

また、先週政府が発表した「イベント人数規制の制限緩和」など社会情勢の変化を踏まえ、本来のレースフォーマットへの復帰に向けての 1 ステップとして、今大会の決勝レースでは、タイヤ交換義務を 10 周目以降から最終週までに完了する特別規則が制定されます。なお給油は禁止されます。(→タイヤ交換義務の詳細は次ページ「決勝レース」をご参照ください)

今大会が行われる岡山国際サーキットは、回り込むようなコーナーが多いレイアウトが特徴で、観客席とコースの距離が近く、各車の熱い走りを最も間近で体感できるコースであり、より良いスターティンググリッド奪取を目指し、予選では選手達の果敢なタイムアタックが予想されます。誰がポールポジションを獲得するのか注目です。

今大会の前週に海外レースに出場し帰国する選手の参戦の可否について、株式会社日本レースプロモーションは関係各所との相談を行って参りましたが、新型コロナウイルス感染症対策に関する政府指針の待機条件等を満たしているとは認められず、今大会への当該選手の参加は適当ではないと判断いたしました。また、もてぎ大会時入国できなかった外国人選手については現在も入国できておらず、今大会も参戦は出来ないかと判断しております。なお、今後も JAF、各エントラント、主催者等と連携しながら、関係各所と継続して解決策を模索して参ります。



予選でコースレコードを更新し、見事ポールトゥウィンで開幕戦を制した
平川 亮(イトウチュウエネクス チーム インパル)

2020 シーズンの競技規則変更点

- ・予選、決勝ポイント付与の変更 : 予選 3 位までと、決勝 10 位までにポイントが付与される。
- ・有効ポイント制の導入 : 1 大会での予選と決勝レースの合計得点の上位最大 5 大会分の合計を選手権有効得点とする。
(有効ポイント制は今シーズンのみ適用)
- ・ウェットタイヤの本数増 : 競技会期間中に使用できるウェットタイヤのセット数を最大 4 セットから 6 セットに変更。
- ・Q2 進出台数の増加 : 予選 Q2 への進出台数が 12 台から 14 台に変更。
- ・消火作業要員の専任化 : タイヤ交換要員を 4 名同時に確保する事が可能となる。
- ・自走でのパークフェルメ帰着、及び残燃料 1L の義務化 : チェッカー後、必ず自走でパークフェルメに戻る上で、ガス欠によるコース上でのストップに対して罰則の対象となる。
- ・タイヤ空気圧管理の規則化 : 競技中の最低タイヤ内圧をチェック。

公式予選

Q1 (各組10分間) 公式予選Q1を2つのグループ (A組とB組) に分け、各組10分間の走行とする。
実施に当たっては、大会特別規則書第25条の運用に準じる。

・予選Q1の運用について

- 1) 公式予選Q1を2つのグループ (A組とB組) に分けて実施する。
- 2) グループ分け方法は、前戦までにドライバーが獲得した選手権得点に準じて、得点が高い順に、B組、A組の順番で振り分ける。
- 3) 参加車両が複数台のエントラントについては、少なくとも1台を別の組分けとする。
- 4) 公式予選Q1は各組10分間の走行とする。
- 5) 各組の上位7台がその次のセッション (Q2) へ進出する。
- 6) 公式予選通過基準タイムは、Q1各組において達成された同組1位タイムの107%以内とする。
- 7) Q2に進出できなかった車両には、Q1で最も速いタイムを記録した組のQ1順位8番に総合予選順位15番が与えられ、別の組のQ1順位8番に総合予選順位16番が与えられる。以降交互に総合予選順位が決定される。

Q2 (7分間) 上位8台がQ3に進出。9～14位の順位が確定。

Q3 (7分間) 1～8位の順位が確定。

- ・セッションの間のインターバルは各10分。
- ・ノックアウト方式の名称は、予選にて好タイムが出なければその場でノックアウト (脱落) されることから。

決勝レース

1周: 3.703km × 51周 = 188.853km

最大レース時間 : 1時間15分

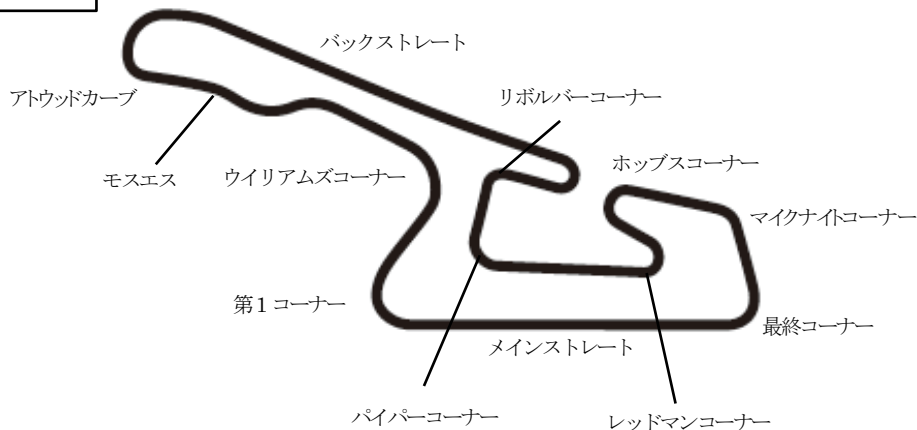
中断時間を含む最大総レース時間 : 2時間

※タイヤ交換義務: 先頭車両が10周回目の第1セーフティカーラインを通過した時点から、先頭車両が最終周回に入るまでの間に最低1回のタイヤ交換を完了していなければならない。

岡山国際サーキットについて

2本の長いストレートと大小13のコーナーからなるテクニカルコースで、各コーナーには往年の名ドライバーの名前がついている。迫力ある見どころとしては、スタート直後の1コーナー、ヘアピンからリボルバーコーナーの下り、Wヘアピン(レッドマン・ホップスコーナー)。コースと観客の距離が近く、コース全長3.7km、レースの迫力をより身近に感じることができます。

岡山国際サーキットレーシングコース



—開催概要—

- 大会名称 : 2020年全日本スーパーフォーミュラ選手権 第2戦 岡山国際サーキット
- 開催日程 : 2020年9月26日(土) フリー走行
2020年9月27日(日) 公式予選 / 決勝レース
- 開催サーキット : 岡山国際サーキット(1周:3.703km)
- 主催 : 株式会社 岡山国際サーキット
アイダクラブ(AC)
- 公認 : 国際自動車連盟(FIA)
一般社団法人日本自動車連盟(JAF)
- 後援 : 岡山県 / 美作市 / 岡山県観光連盟 / 美作国観光連盟 / 岡山県経済団体連絡協議会 /
岡山県商工会議所連合会 / 岡山県経営者協会 / 一般社団法人岡山経済同友会 /
岡山県中小企業団体中央会 / 岡山県商工会連合会 / 山陽新聞社
- 認定 : 株式会社日本レースプロモーション(JRP)
一般社団法人SFLアソシエーション
- 同日開催 : 全日本スーパーフォーミュラ・ライツ選手権 第4/5戦
TCR JAPAN SERIES 2020 第3戦(土曜・日曜 各決勝レース)
2020 N-ONE OWNER'S CUP Rd.11(土曜 決勝レース)
ロードスター・パーティレースIII 西日本シリーズ第3戦(日曜 決勝レース)

【TV放映】

■ BSフジ『2020スーパーフォーミュラ選手権 第2戦 岡山国際サーキット』

2017年からBSフジ(全国無料放送)で放送している『決勝中継』を今年も継続いたします。

決勝レース中継は、ルールの解説やレース終了時の総括、表彰式まで、決勝レースの全体像をしっかりと視聴者の皆様にご覧頂くため、昨年から放送時間を17時～18時55分という夕方の時間帯に変更いたしましたが、今年は放送スタート時間をさらに1時間後ろにずらし、18時～19時55分というゴールデンタイムを含む時間帯で放送いたします。

実況は、フジテレビでモータースポーツ実況の豊富な経験を持つベテラン、野崎昌一と塩原恒夫の2名が担当。解説は、昨年に続き、ドライバー・監督・エンジニアという3つの顔を持つ土屋武士、モータージャーナリストの古賀敬介、また今年には新たにリアルレーシング代表の金石勝智が加わります。

またピットリポーターは、現役ドライバーの柳田真孝と、昨年全日本F3選手権を戦った三浦愛が交代で担当します。

○放送時間 : 2020年9月27日(日) 18:00～19:55

○実況 : 塩原 恒夫

○解説 : 金石 勝智

○ピットポート : 三浦 愛

■ BSフジ『スーパーフォーミュラ GO ON!』

スーパーフォーミュラの総合情報番組として2018年に新たなスタートを切った『GO ON!』も今年で3年目を迎えます。

進行の本田朋子、ナレーションの乃木坂46・樋口日奈に加えて、現役ドライバーの牧野任祐とSFオフィシャルステージMCの笠原美香がレギュラー参加。スーパーフォーミュラを様々なテーマでクローズアップ。コアファンだけでなく、これまでモータースポーツに馴染みの少なかった視聴者にも、スーパーフォーミュラを知っていただき、楽しんでいただけるよう、内容をグレードアップしてお届けします。

○放送時間 : 第3回 2020年9月18日(金) 23:00～23:55 (再放送 9月20日(日) 24:30～25:25)

○進行 : 本田 朋子

○コメンテーター : 牧野 任祐

○リポーター : 笠原 美香

○ナレーション : 樋口 日奈(乃木坂46)

■ J SPORTS『スーパーフォーミュラ 2020 第2戦 岡山国際サーキット』

全7戦の予選と決勝の模様をライブ中継。再放送やレースダイジェスト番組も放送します。

尚、放送時間、放送チャンネルは予告なく変更される場合がありますので、「J SPORTSモータースポーツ」内の「スーパーフォーミュラ」ページか、「スーパーフォーミュラ オフィシャルウェブサイト」でご確認ください。

予選 2020年9月27日(日) 10:30～ J SPORTS 3 <生中継>

決勝 2020年9月27日(日) 14:45～ J SPORTS 3 <生中継>

【国内映像配信】

■ Yahoo! GYAO !

スーパーフォーミュラ全戦の決勝レースを全戦、大会終了10営業日後よりオンデマンドで無料配信いたします。

※配信日時は変更となる場合があります。

<http://gyao.yahoo.co.jp/sports/>

■ J SPORTS

スーパーフォーミュラ全戦の予選・決勝の模様を、Live配信でお楽しみいただけます。

※状況によりLive配信から変更になる場合がございます。詳しくは「J SPORTS ウェブサイト」でご確認ください。

https://www.jsports.co.jp/motor/super_formula/

■ YouTube

スーパーフォーミュラ全戦の予選ならびに決勝のレース映像をダイジェスト版にてレース終了後当日配信いたします。

※配信日時は変更となる場合があります。詳しくは予選・決勝日の夜、「スーパーフォーミュラ オフィシャルウェブサイト」でご確認ください。

<https://superformula.net/sf2/video-library>

<https://www.youtube.com/user/superformulavideo>

【海外映像配信】

■ RedBull TV (Live 配信、VOD) ※日本を含む全世界配信

世界中の若者に絶大な人気を誇るレッドブルの動画サイト RedBullTV。今シーズンからスーパーフォーミュラの予選・決勝を全世界に向けて Live 配信いたします。

<https://www.redbull.com/jp-ja/events/superformula>

■ THE RACE (Live 配信、VOD) ※日本以外の世界配信 YouTube

■ motorsport.com (Live 配信、VOD) ※日本以外の世界配信

■ REV TV (Live 配信) ※カナダ国内

【インターネット／SNS】

■ 公式WEBサイト

<http://superformula.net/sf2>

■ 公式LiveTimingアプリ

無料ライブタイミングアプリ「SUPERFORMULA」で検索(i OS、Android 対応)

■ 公式 Twitter

https://twitter.com/SUPER_FORMULA

※公式ハッシュタグ #sformula

■ 公式Facebook

<https://www.facebook.com/superformula.official>

※公式ハッシュタグ #sformula

■ 公式 Instagram

https://www.instagram.com/superformula_official

※公式ハッシュタグ #superformula

【新・プロモーション】

■サテライトスタジオ YouTube Live 配信

観客エリアでの SF オフィシャルステージの中止に伴い、当ステージで行われていたトークショー等を、ブリーフィングルームに新たに設置した「サテライトスタジオ」で実施し、SF 公式 YouTube で Live 配信いたします。また、このサテライトスタジオのコンテンツは、観客向けネットサービス Grooview の 3ch.にも配信いたします。

<サテライトスタジオ コンテンツ> MC:笠原 美香

- ・ビギナーズトーク 出演者:各エントラントのレースクイーン
- ・PPDドライバートーク 出演者:ポールポジション獲得ドライバー
- ・監督トーク 出演者:星野 一義
- ・決勝直前トーク 出演者:金石 勝智
- ・優勝ドライバートーク 出演者:優勝ドライバー、ピエール北川
- ・テクノロジーラボラトリー 出演者:優勝マシン担当エンジニア、両角 岳彦

■観客向けネットサービス「Grooview」

観客のスマホやタブレットで、スーパーフォーミュラをはじめサーキットで行われる各種レースや実況席の様様、選手インタビューやレースクイーントークなど、様々な動画映像を、チャンネル別にリアルタイムで楽しめる新アプリ「Grooview」を、無料サービスとして、今シーズンからご提供いたします。なおパケット通信料はご利用者負担となります。

<配信チャンネル>

- 1ch:場内ビジョン映像(場内限定)
- 2ch・3ch:実況席映像(場内限定)
- 4ch:サテライトスタジオ映像(公式 YouTube で Live 配信)

【チケット情報】

●前売観戦券

- 土日通し: 5,500 円
- 土曜日: 4,400 円
- 日曜日: 5,500 円

●前売駐車券(土日各日)

- 4 輪: 1,700 円
- 2 輪: 1,100 円(当日券のみ)

レースチケットの詳細は、岡山国際サーキット ホームページ (<http://okayama-international-circuit.jp/special/sf-2020/>)をご参照ください。

【2020年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 参考資料】

1. 全日本スーパーフォーミュラ選手権とは？

純然たるレーシングマシンであるオープン・シングルシーターのフォーミュラカーによって競われる国内最高峰の自動車レースです。一般社団法人日本自動車連盟(JAF)が公認し、株式会社日本レースプロモーションのプロモートにより、1996年にフォーミュラ・ニッポンとしてスタート。2013年より名称をスーパーフォーミュラに変更し現在に至っています。

2. チャンピオンシップ

2020年全日本スーパーフォーミュラ選手権は、全7戦、日本全国6カ所のサーキットを11チーム(エントリー)、国内外の20名(20台)のドライバー(※1)が転戦しチャンピオンが争われる、アジア地域唯一の国際格式選手権シリーズです。

(※1)ドライバー:国内:14名、海外:6名(5カ国 ニュージーランド、フランス2名、コロンビア、エストニア、ブラジル)

2020年全日本スーパーフォーミュラ選手権シリーズ開催スケジュール

日程	サーキット	
第1戦	8 / 29 (土) ~ 30 (日)	ツインリンクもてぎ
第2戦	9 / 26 (土) ~ 27 (日)	岡山国際サーキット
第3戦	10 / 17 (土) ~ 18 (日)	スポーツランドSUGO
第4戦	11 / 14 (土) ~ 15 (日)	オートポリス
第5戦	12 / 5 (土)	鈴鹿サーキット
第6戦	12 / 6 (日)	鈴鹿サーキット
第7戦	12 / 19 (土) ~ 20 (日)	富士スピードウェイ

2020年シリーズ選手権 ポイントシステム

順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
予選ポイント	3	2	1							
1大会1レース	20	15	11	8	6	5	4	3	2	1

※ 最終戦終了時点で、複数のドライバーまたはチームが同一のポイントを得た場合、高得点を得た回数が多い順に順位を決定する。

今シーズンは有効ポイント制を適用する。1大会での予選と決勝レースの合計得点の上位最大5大会分の合計を選手権有効得点とする。

- ルーキー・オブ・ザ・イヤー：当該年度初参戦となるルーキードライバーが3名以上存在する場合、その中で年間獲得ポイント最上位の選手に贈られる。
(ルーキー:SFの決勝レース出走回数が積算で4戦未満のドライバー)
- チームポイント：各チーム(エントリー)に所属するドライバーの獲得ポイントを合計。
同一チーム(エントリー)に2台以上の車両が所属する場合は、上位2台分が得点対象となる。
チームポイントには、予選のポイントは与えられない。

3. シリーズ賞典

各レースの入賞成績に応じて与えられるポイントの合算により、シリーズチャンピオンが決定。ドライバーとチームの2部門に全日本スーパーフォーミュラ選手権のタイトルが懸けられチャンピオン獲得者には下記の賞典が授与される。

- チーム チャンピオン
 - ・経済産業大臣杯 (予定)
- ドライバーズ チャンピオン
 - ・ドライバーズチャンピオンカップ
 - ・観光庁長官杯 (予定)
 - ・自由民主党モータースポーツ振興議員連盟杯

- ルーキー オブ ザ イヤー
 - ・クリスタルトロフィー

4. レース車両

◎シャシー

車両(「SF19」)は、2018年までのSF14で実績のあるイタリアのダラーラアウトモビリティ社の設計・製作によるもので、SF14のコンセプト「Quick&Light」を継続しつつ、2017 FIAの安全基準に対応し、空力の見直しにより、さらにオーバーテイクし易くなることで、ドライバー同士のバトルが際立つ、エンターテインメントと競技の両立を目指して開発されました。

◎エンジン

日本を代表する自動車メーカーであるホンダとトヨタが次世代エンジン開発に貢献するコンセプト＝NRE(※2)に基づき開発した本田技研工業/M-TEC製/HR-417E、トヨタ自動車/TRD製/Biz-01Fを搭載しています。

このエンジンの特徴としては、「燃料リストリクター」(燃料流量規制システム)を全機装備し、燃料流量を一定にすることにより燃料をいかに効率良く活用しパワーに結びつけるかが、勝負の鍵となります。

厳しい開発競争の結果、効率の良さを図る“正味燃費消費率(BSFC)”、“正味熱効率”では市販ハイブリット車以上の性能を発揮しており、次世代エコエンジンの開発に貢献しています。

(※2)NRE エンジンについて

ホンダ、トヨタ、ニッサンが、環境技術とモータースポーツの面白さの両立に向けに決定したエンジン規定。

- ・気筒配列 : 直列4気筒
- ・排気量 : 2,000cc+ターボ
- ・燃料吸気方式 : ダイレクトインジェクション
- ・燃料流量制限 : 鈴鹿、富士大会… 燃料流量95kg/h
その他大会……燃料流量90kg/h

◎オーバーテイクシステム

オーバーテイクシステム(以下OTS)は、レースに於ける見せ場の一つである追い越しをより促すシステムで、2009年より採用しています。

このシステムは、各エンジンに装備されている燃料リストリクターを活用し、燃料供給量を一時的に増加させパワーを上げる、というもので(※3)、ステアリングのボタン操作により、決勝レース中、最大100秒間使用可能です。また、使用回数は任意です。ただし、OTS作動後は100秒間の使用制限が設けられている為、2018年までの1回20秒間を5回使用できる仕様に比べ、使用するタイミングがより重要となり、戦略性が高くなっています。なお、OTS作動中は、ドライバーのヘルメット後方にあるオーバーテイクランプ(OTL)が点滅し、観客からも視認できるとともに、リアコーションランプも連動して点滅するので、後方のドライバーも視認が可能です。

また、OTS使用可能残時間は、OTL自体の色でわかりやすく表示いたします。

●OTLの識別

- ・残り100秒から20秒までは、グリーンの常灯
- ・20秒未満は、赤の常灯
- ・0秒で、消灯
- ・OTS作動時は、点滅
- ・100秒間の使用制限中は、スロー点滅
- ・OTS作動時は、リアコーションランプが連動



残り100秒→20秒



残り20秒→0秒

(※3) オーバーテイクシステムについて

- ・メカニズム : システム作動時に燃料流量を10kg/h増加させる
- ・効果 : 約60ps、10%の出力増
- ・ルール : 決勝レース中、最大100秒間使用可能

◎タイヤ

2016年シーズンより横浜ゴム製のワンメイク供給です。横浜ゴムのスーパーフォーミュラ用ADVANレーシングタイヤは、スーパーフォーミュラが要求するグリップ、耐久性、安全性などの厳しい目標に対し、高いパフォーマンスを発揮、レースの盛り上げに貢献しています。

2020シーズン、ドライタイヤ、ウェットタイヤは各1種類が供給され、競技会期間中に使用できるウェットタイヤのセット数が、最大6セット（前輪12本、後輪12本）となりました。また、タイヤ保管方法の明確化、密閉空間および外気温より著しく高温になる空間での保管は認めない事、さらにスタート前およびフィニッシュ後の最低タイヤ内圧/温度をチェックし、不適合の場合にはその場で是正させるか、罰則の対象となりました。

*この件に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

株式会社日本レースプロモーション (<http://www.superformula.net/>)

102-0074 東京都千代田区九段南 2-3-25 平安堂ビル

e-mail: media@superformula.net Tel:03-3237-0131 Fax:03-3237-0135